

# 平成24年度

## 岩手県一般会計当初予算のポイント

岩手県

平成24年2月

- ・ 精査の結果、計数等に異動を生じることがあります。
- ・ 表中の各項目の数値は、表示単位未満を四捨五入しているため、その内訳は、合計と一致しない場合があります。

# 平成24年度当初予算案（一般会計）の状況

## ～いわて復興元年予算～

東日本大震災津波からの復旧・復興、さらにはその先にある「希望郷いわて」の実現に向けて、「復興計画」と「いわて県民計画」を着実に推進

- ◇ 震災対応に要する経費を最大限措置した結果、予算規模は当初予算として過去最大の1兆1,183億円
- ◇ 震災対応分の予算は、平成22年度以降の3カ年で1兆1,634億円を計上  
平成24年度は、震災対応経費のうち、復旧・復興関係経費を増額し、復旧・復興施策を力強く推進
- ◇ 通常分の予算は、対前年度比6.1%減  
公債費などの義務的経費が増となる一方、政策的な事業に要する経費を、選択と集中により厳選して計上

### 予算の規模

(単位：億円、%)

	平成24年度 当初予算	平成23年度 当初予算(※)	増減額	増減率
総額	11,183	6,953	4,231	60.9
震災対応分	4,652		4,652	皆増
通常分	6,532	6,953	△421	△6.1

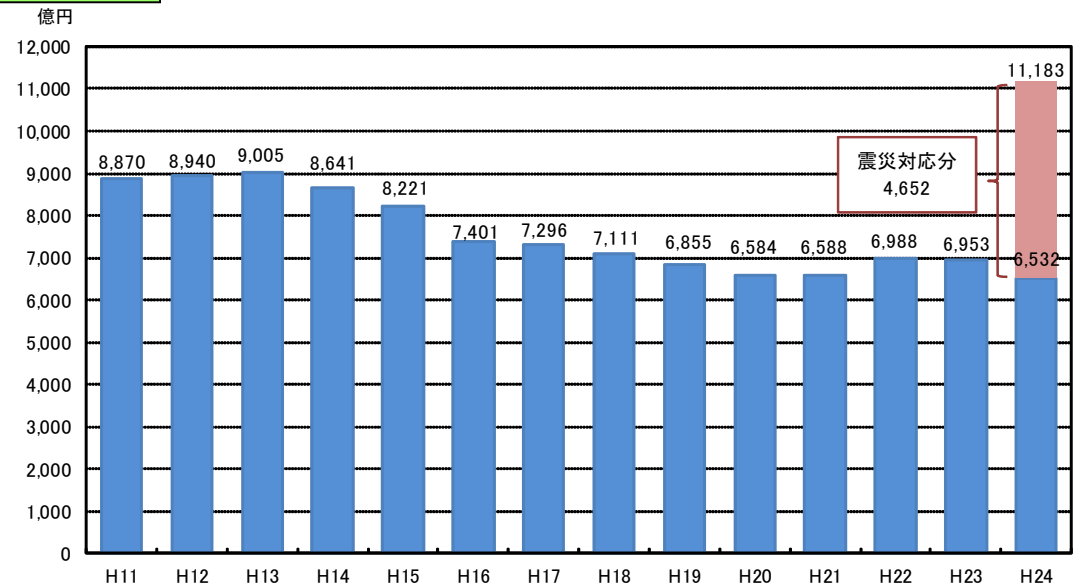
(※) 平成23年度当初予算は、当初予算と第4号補正予算の合計額

### 震災対応分の予算額の推移

(単位：億円)

	平成24年度 当初予算 (震災対応分)	平成23,12月 現計予算 (震災対応分)	平成22,2月 現計予算 (震災対応分)	合計
総額	4,652	6,848	134	11,634
復旧・復興	4,583	3,984	40	8,607
災害救助等	69	1,687	95	1,851
基金積立	0	1,177	0	1,177

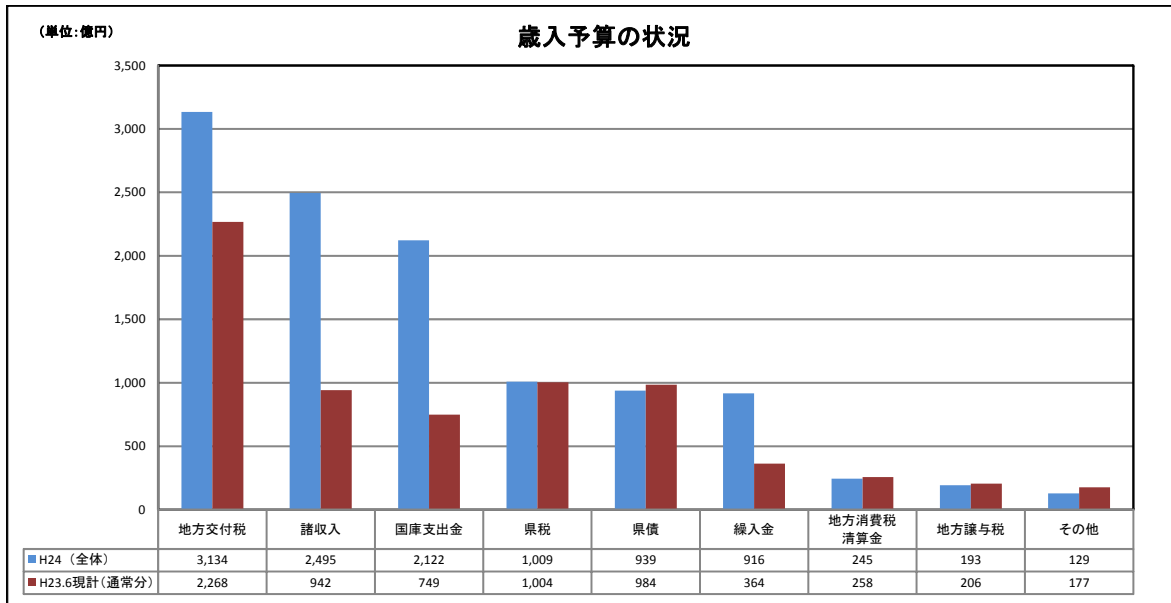
### 予算額の推移



※ H11・15・19・23年度は、当初予算が骨格予算のため6月現計予算額(H23年度は、当初予算と第4号補正予算の合計額(実質的な当初予算額))となっています。

各年度の肉付け予算の規模…H11 200億円、H15 138億円、H19 303億円、H23 137億円  
また、H19年度以前の予算額は、公債管理特別会計相当分を除いた予算額となっています。

# 歳入予算・歳出予算のポイント

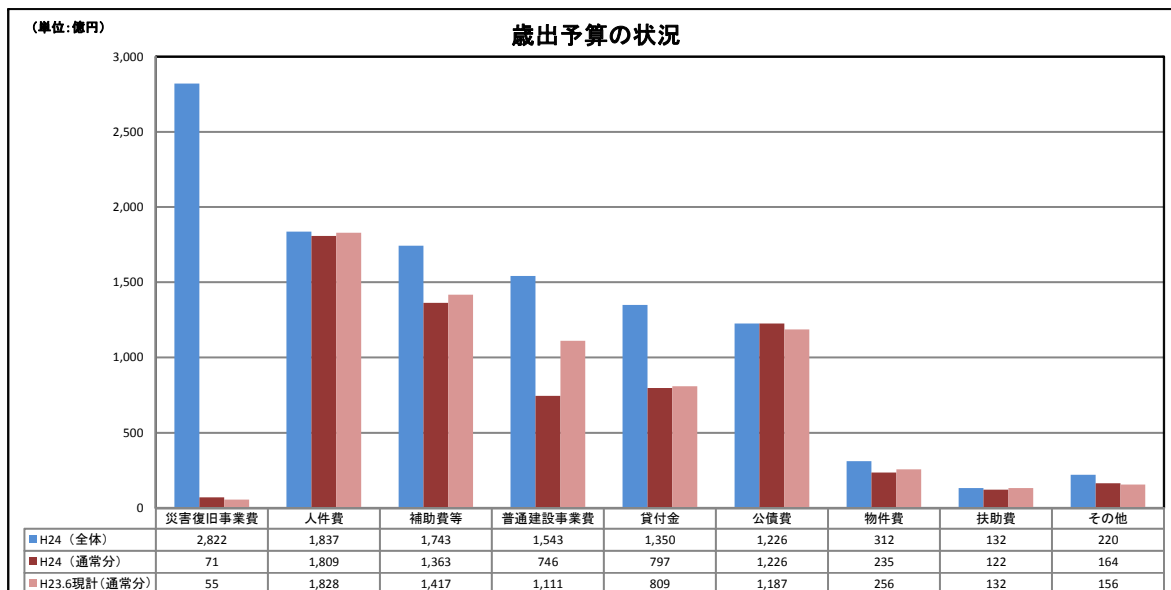


## 【歳入予算のポイント】

東日本大震災津波からの復旧・復興のため、震災復興特別交付税、国庫支出金のほか、緊急雇用創出事業臨時特例基金や東日本大震災津波復興基金などの基金からの繰入金等の大幅な増加が見込まれます。

また、市町村から災害廃棄物処理を受託したことに伴い、諸収入（市町村からの委託料）の大幅な増加が見込まれます。

一方、県債は、震災対応事業に係る地方負担分相当額が、震災復興特別交付税で措置されることなどから、減少する見込みです。



## 【歳出予算のポイント】

東日本大震災津波からの復旧・復興のため、災害復旧事業費（災害廃棄物緊急処理支援事業、漁港災害復旧事業等）、普通建設事業費（災害公営住宅整備事業費等）、貸付金（中小企業東日本大震災復興資金貸付金等）、補助費等（事業復興型雇用創出事業費補助等）などが大幅に増加しました。

平成24年度は、「復興元年」として、災害救助等の応急的な対応を主体としたステージから、「安全」「暮らし」「なりわい」の基盤の復興を主体とした新たなステージへ移行し、復旧・復興へ向けた取組を力強く推進していきます。

# 「いわて復興元年予算」における取組の概要

～ 被災者一人ひとりに寄り添い、岩手の復興を力強く推進 ～

## 1 「復興計画」に掲げた復興の基盤となる取組の迅速な実施

### 「安全の確保」

#### ■ 防災のまちづくり

☆「多重防災型まちづくり」による安全で安心な防災都市・地域づくりの推進

- 災害廃棄物の撤去及び処理
- 湾口防波堤や防潮堤など津波防災施設の復旧・整備、水門等の遠隔操作化
- 防災拠点となる公共・民間施設への再生可能エネルギー導入の支援
- 市町村が行う放射性物質の除染作業への助成や県立学校施設における汚染された土壌等の除染の実施
- 粗飼料(牧草、稲わら等)の放射性物質の調査及び牧草地の再生対策
- 津波防災教育用教材の制作、自主防災組織育成強化推進員(仮称)の派遣、広域防災拠点の在り方検討

#### ■ 交通ネットワーク

☆復興道路や鉄道等の災害に強い交通ネットワークの構築

- 復興道路をはじめとする災害に強く信頼性の高い道路ネットワークの構築、インターチェンジ等へのアクセス道路の整備
- 三陸鉄道の車両や駅舎の整備など全線運行再開に向けた復旧工事への補助
- 港湾の物流機能の早期回復と利活用の促進

### 「暮らしの再建」

#### ■ 生活・雇用

☆被災者の生活の安定と雇用の維持・創出

- 災害復興公営住宅等の早期整備
- 住宅の新築・購入費用の助成など、被災者の生活再建に対する支援
- 被災者の雇入れに係る費用に対する助成

#### ■ 保健・医療・福祉

☆災害に強く、質の高い保健・医療・福祉体制の整備や被災者の健康維持、こころのケアの推進

- 被災地の医療施設の移転・新築等や被災した診療所等の機能回復への補助
- こころのケアセンター等の設置によるケアの実施
- 仮設住宅等における介護サービス等の提供体制の整備

#### ■ 教育・文化

☆きめ細やかな学校教育の実践と教育環境の整備・充実

- 臨床心理士等のスクールカウンセラーの学校等への配置
- 震災により親を失った児童生徒等に対する「いわての学び希望基金」による奨学金の給付
- 被災した県立学校施設の復旧工事の実施

#### ■ 地域コミュニティ

☆コミュニティの再生・活性化へ向けた支援

- 地域住民が愛着と誇りを持ち創りあげるまちづくりへの支援

### 「なりわいの再生」

#### ■ 水産業・農林業

☆漁業協同組合を核とした漁業、養殖業の構築及び産地魚市場を核とした流通・加工体制の構築

- 被災した漁船及び漁具の復旧整備への支援
- 被災した漁港施設、養殖施設、水産業共同利用施設等及び海岸保全施設の復旧
- 種苗生産やさけ、ます増殖の支援
- 漁業就業者の確保・育成及び着業の支援

☆地域特性を生かした生産性・収益性の高い農業の実現

- 農地・農業用施設の復旧
- 沿岸地域における野菜のハウス団地の形成の支援

☆地域の木材を活用する加工体制等の再生

- 原木やチップの流通に係る輸送費への助成

#### ■ 商工業

☆被災地の中小企業等への再建支援

- 二重債務問題の解消に向けた取組の実施
- 被災した中小企業の早期復旧への助成
- 中小企業等の事業の再建に向けた融資の実施

#### ■ 観光

☆地域資源を活用し、県内全域への誘客を促進

- 「いわてデスティネーションキャンペーン」の実施による宣伝・誘客
- 継続的な復興支援や岩手ファンの拡大につなげる県外向け広報の実施

### ■ 三陸創造プロジェクト

- 国際研究交流拠点形成プロジェクト：国際リアライダーの東北誘致に向けた取組の推進
- 国際研究交流拠点形成プロジェクト：国際科学技術研究拠点の形成に向けた取組の推進
- さんりくエコタウン形成プロジェクト：自立・分散型エネルギー供給体制の構築に向けた取組の推進
- 東日本大震災津波伝承まちづくりプロジェクト：防災文化を活かしたまちづくりの推進
- さんりく産業振興プロジェクト：新しい三陸地域の創造を目指した産業の振興
- 新たな交流による地域づくりプロジェクト：県北・沿岸圏域の振興に向けた取組の推進

## 2 「復興計画」と軌を一にした「いわて県民計画」の着実な推進

### 「仕事」

#### ■ 産業・雇用

☆ものづくり産業の基盤形成と産業集積の促進

- 自動車関連、医療機器関連産業の創出・集積

☆食、観光、地場産業などの振興と新たな産業の育成

- 産業人材育成、いわてデスティネーションキャンペーンの推進、研究開発と事業化支援

☆雇用の確保・創出と離職者や若年者等の就業支援

- 産業復興による安定的雇用の創出
- ジョブカフェ等による若年者・離職者等の就業支援

#### ■ 農林水産業

☆生産基盤の早期復旧

- 漁船、養殖施設、漁港、農地、木材加工施設等の早期復旧

☆地域の農林水産業の核となる経営体の育成

- 生産の効率化や経営の規模拡大・多角化等の推進

☆生産性・市場性が高い産地づくりと6次産業化等による高付加価値化の推進

- 安全・安心で高品質な農林水産物の生産に向けた取組の推進
- 6次産業化等による農林水産物の高付加価値化の推進

### 「環境」

☆地球温暖化対策の推進

- 地球温暖化防止のための県民運動の推進
- 再生可能エネルギーの導入促進

☆循環型地域社会の形成

- 各主体と連携した3Rの促進
- 廃棄物の適正処理の推進

### 「暮らし」

#### ■ 医療・子育て・福祉

☆地域の保健医療体制の確保

- 医師や看護職員の養成・確保
- ドクターヘリの運用体制整備

☆子育て環境の整備

- 保育サービスの充実等子育て家庭への支援
- 「県立療育センター」の整備

☆福祉コミュニティの確立

- 高齢者、障がい者などのニーズに応じた介護・福祉サービス提供の仕組みづくり
- 自殺対策の充実

#### ■ 安全・安心

☆地域防災力の強化

- 防災知識の普及啓発、自主防災組織の育成強化、消防団員の安全確保対策、実践的な訓練等の実施

☆地域コミュニティの再生・活性化

- 「新しい公共」の拡大と定着に向けた支援の仕組みの構築

### 「社会資本・公共交通・情報基盤」

☆産業を支える社会資本の整備

- 復興道路をはじめとする災害に強く信頼性の高い道路ネットワークの構築
- いわて花巻空港の利便性向上や国際チャーター便等の誘致・拡大による国内外との交流や物流の促進

☆安全で安心な暮らしを支える社会資本の整備

- 河川改修やダム建設などによる洪水等の自然災害対策の推進

### 「学び・こころ」

#### ■ 教育・文化

☆「知・徳・体」の調和のとれた人間形成を図る学校教育の推進

- 授業や指導方法の改善による児童生徒の学力向上
- 地域を担う人材を育成するキャリア教育の推進
- 子どもたちの放課後の安全・安心な居場所づくり

☆世界遺産平泉の理念の普及

- 「人と人との共生」「人と自然との共生」の理念を国内外に発信

☆文化芸術の振興

- 「平泉の文化遺産」の世界遺産追加登録に向けた取組の推進
- 民俗芸能の継承と後継者の育成を推進

☆豊かなスポーツライフの振興

- 「新しい岩手型国体」の平成28年開催に向けた準備
- 中長期的な選手の育成や指導者養成の推進

☆豊かで快適な環境を創造する基盤づくり

- 歩道整備等による道路環境の改善や景観に配慮した美しいまちづくりの推進

☆公共交通の維持・確保

- 三陸鉄道及びJR線の早期運行再開に向けた取組や代替輸送確保の取組の支援